


自立活動 教材教具カード

名称	顔の表情と気持ち
区分・項目	3 人間関係の形成（4）集団への参加の基礎に関すること
<p>課題内容</p> <p>・</p> <p>指導例及び留意点</p>	<p>【課題内容】</p> <p>①顔の表情のイラストカードを見て、気持ちの言葉と表情をマッチングする。（このときは、表情カードに書いてある言葉は、消し、イラストのみとする。）</p> <p>②表情カードから気持ちを考え、「嬉しい気持ち」と「いやな気持ち」のどちらになるのかを分ける。</p> <p>③日常の実際の場面を話し、その時の本人や友達、先生の気持ちはどうなのかを絵カードで選ぶ。</p> <p>例：けいとくんが運動会の徒競走で一番になったときの、けいとくんの気持ちはどれでしょう？</p> <p>★（時間があったら）絵と気持ちの言葉を線でつなぐプリントを行う。</p> <p>★（最近取り組みはじめたこと）本人のいいところ探し：日常生活の場面の一部を話し、「いいところ」「直すといいところ」に分類する。直すといいところは、適切な行動を伝え、どちらがいいか本人に選んでもらう。</p> <p>★課題を頑張ったら好きな本を読んで待つ。</p> 
材料、購入先 予算価格	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットサイトよりダウンロード ・無料
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・表情カードを使いながら、日常生活上の行動とその時の人の気持ちを尋ねると、見た感じの実態とは違い、よくわかっていることがある。気持ちがわかっているのに、あえて良くない行動をとる生徒にどのようにアプローチするのか模索中である。